# シントーフロシ\＃100マイルドHB 

## 

SHINTO FLON \＃100MILD HB

## シントーフロン\＃100マイルドHBは，

乾燥膜厚 $50 \sim 60 \mu \mathrm{~m} / 1$ 回塗り（スプレー・はけ・ローラー）が可能な
弱溶剤厚膜形ふつつ素樹脂途料です。
高い結合エネルギーを有する4フッ化タイプふつ素樹脂を高濃度に
配合して，高品質の塗膜性能を発揮します。
当社が開発した機能性下塗り（錆面補修材，厚膜形下塗り塗料）との
組み合わせで鋼構造物の長期耐久性に最適な
高性能メンテナンス塗装システムをご提供いたします。

## 1 倀れた豴候性を等徨します。

耐候性に優れる4フッ化タイプふつ素樹脂を高濃度に配合しています。
－主剤溶剤可溶物中のふつ素の定量 $=20 \%$


## 2 臭気がマイルドた弱洛部形型料です。


3 省工程整褤が可能です。


標準形乃つ素樹脂塗料（ $25 \mu \mathrm{~m}$ タイプ）に比べて約2倍の耐久性が期待できます。

美観性や景観性が求められる構造物に最適な上塗り塗料です。
6 適合斍格
－土木用防污材料 I 種

用 途


商品撗成

| 品 名 | 殓 量 |  |  |  | 相 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| シントーフロン\＃100マイルドHB | セット | 主 剤 | 硬化剤 | 各 色 |  |
|  | 16 kg | 14 kg | 2 kg |  |  |
|  | 4kg | 3.5 kg | 0.5 kg |  |  |
| 塗料用シンナーA | 16L • 4L |  |  |  |  |

## シントーフロン\＃100マイルトド



| 項 目 | 規 格 | 品 質 |
| :---: | :---: | :---: |
| 容器の中の状態 | かき混ぜたとき，堅い塊がなくて一様になる。 | 合 格 |
| 表面乾燥性 | 表面乾燥する。 | 合 格 |
| 塗膜の外観 | 正常である。 | 合 格 |
| ポットライフ | 規定時間後，使用できる。 | 合 格 |
| 隠ぺい率 \％ | 白•淡彩は90以上，鮮明な赤及び黄は50以上，その他の色は80以上 | 合 格 |
| 鏡面光沢度（60度） | 70以上 | 80 |
| 耐屈曲性 | 折曲げに耐える。 | 合 格 |
| 耐おもり落下性（デユポン式） | 塗膜に割れ及びはがれが生じない。 | 合 格 |
| 層間付着性II | 異常がない。 | 合 格 |
| 耐アルカリ性 | 異常がない。 | 合 格 |
| 耐酸性 | 異常がない。 | 合 格 |
| 耐湿潤冷熱繰返し性 | 湿潤冷熱繰返しに耐える。 | 合 格 |
| 混合塗料中の加熱残分 \％ | 白•淡彩は50以上，その他の色は40以上 | 68 |
| 促進耐候性 | 照射時間2000時間の促進耐侯性試験に耐える。 | 合 格 |
| 屋外暴露耐候性 | 光沢保持率が $60 \%$ 以上で白亜化の等級が1又は0 | 合 格 |



| 工 程 |  |  | 鉒或法 |  | 害枵率（wt\％） |  | 集封区分 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 素地調整 | 工具処理：ISO PSt3（さび発生部は，除錆して鋼村面を露出させる。）筌膜脆弱部は，動力工具や手工具などで脆弱塗膜を除去する。活膜部は粉化物や付着異物を除去し，塗膜表面の目粗しを行う。 |  |  |  |  |  | 現地 |
| 補修塗装 | ネオゴーセーマイルド下塗 | （60） | $\begin{gathered} \text { はけ } \\ \text { ローラー } \end{gathered}$ | 240 | $\begin{gathered} \text { 塗料用シンナー A } \\ \text { 5~10 } \end{gathered}$ | 1日～10日 |  |
| $\begin{aligned} & \text { 第 } 1 \text { 層 } \\ & \text { (下 塗 ) } \end{aligned}$ | ネオゴーセーマイルド下塗 | 60 | $\begin{gathered} \text { はけ } \\ \text { ローラー } \end{gathered}$ | 200 | $\begin{gathered} \text { 塗料用シンナーA } \\ \text { 5~10 } \end{gathered}$ | 1日～10日 |  |
| $\begin{aligned} & \text { 第 } 2 \text { 層 } \\ & (\text { (下塗) } \end{aligned}$ | ネオゴーセーマイルド下塗 | 60 | $\begin{gathered} \text { はけ } \\ \text { ローラー } \end{gathered}$ | 200 | $\begin{gathered} \text { 塗料用シンナーA } \\ \text { 5~10 } \end{gathered}$ | 1日～10日 |  |
| $\begin{aligned} & \text { 第 } 3 \text { 層 } \\ & (\text { 上集) } \end{aligned}$ | シントーフロン\＃100マイルドHB | 55 | $\begin{gathered} \text { はけ } \\ \text { ローラー } \end{gathered}$ | 200 | $\begin{aligned} & \text { 塗料用シンナー A } \\ & 5 ~ 10 \end{aligned}$ | － |  |

※補修塗装は，鋼材露出部に適用
－塗替え塗装－II（プラントメンテナンス用提案仕様）

| 工 程 |  | 標鷕滇景（ $\mu \mathrm{m}$ ） | 㙖索方法 |  | 希碞絮（wt\％） |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 素地調整 | 工具処理：ISO PSt2（さび発生部は，除錆する。特に浮錆は除去する。） <br> 脆弱塗膜は除去する。活膜部は粉化物や付着異物を除去し，塗膜表面の目粗しを行う。 |  |  |  |  |  | 現 地 |
| 錆面補修 | スーパーさびコートワマイルド | （60） | $\begin{gathered} \text { はけ } \\ \text { ローラー } \end{gathered}$ | 180 | $\begin{aligned} & \text { 塗料用シンナーA } \\ & 5 \sim 10 \end{aligned}$ | 1日～10日 |  |
| 第 1 層 （下塗） | ネオゴーセーマイルド下塗HB | 100 | はけ | 310 | $\begin{gathered} \text { 塗料用シンナーA } \\ \text { 0~5 } \end{gathered}$ | 1日～10日 |  |
| 第 2 層 （上塗） | シントーフロン\＃100マイルドHB | 50 | $\begin{gathered} \text { はけ } \\ \text { ローラー } \end{gathered}$ | 180 | $\begin{aligned} & \text { 塗料用シンナーA } \\ & \text { 5~10 } \end{aligned}$ | － |  |

[^0]|  | 品 名 |  |  | シントーフロン\＃100マイルドHB |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 概 | 塗料のタイプ |  |  | 弱溶剤厚膜形ふつ素樹指塗料上塗 |  |  |  |  |
|  | 色 | 相 |  | 各 色 |  |  |  |  |
|  | 容 | 量 |  | セット |  | 主 剤 |  | 硬化剤 |
|  |  |  |  | 16 kg |  | 14 kg |  | 2 kg |
| 要 |  |  |  | 4kg |  | 3.5 kg |  | 0.5 kg |
|  | 混合比（主剤硬化剤） |  |  | 7： 1 （重量比） |  |  |  |  |
| $\begin{aligned} & \text { 設 } \\ & \text { 計 } \\ & \text { 値 } \end{aligned}$ | 光沢（60度鏡面光沢度） |  |  | 80 |  |  |  |  |
|  | 密 | 度 |  | $1.3 \mathrm{~g} / \mathrm{mL}$ |  |  |  |  |
|  | 加熱残分（Wt\％） |  |  | 68 |  |  |  |  |
|  | WET／DRY比 |  |  | 0\％＝2．1 5 \％ 1.2 |  |  | 10\％＝2．4 | 15\％＝2．6 |
| $\begin{aligned} & \text { 装 } \\ & \text { 案 } \\ & \text { 内 } \end{aligned}$ | 適正塗装方法 |  |  | スプレー・はけ・ローラー |  |  |  |  |
|  | スプレー仕様 |  |  | $55 \mu \mathrm{~m}-260 \mathrm{~g} / \mathrm{m}^{2}$ |  |  |  |  |
|  | はけ・ローラー仕様 |  |  | $55 \mu \mathrm{~m}-200 \mathrm{~g} / \mathrm{m}^{2}$ |  |  |  |  |
|  | 塗装環境条件 |  |  | 温度 ${ }^{\text {a }}$ |  |  | 湿度 | 85\％以下 |
|  | 塗装適正粘度（エアレス） |  |  | 2．0～4．0dPa．s（リオン粘度計） |  |  |  |  |
|  | 希釈シンナー |  |  | 塗料用シンナーA |  |  |  |  |
|  |  |  |  | $5^{\circ} \mathrm{C}$ | $10^{\circ} \mathrm{C}$ | $20^{\circ} \mathrm{C}$ | $30^{\circ} \mathrm{C}$ | $40^{\circ} \mathrm{C}$ |
|  | 使用可能時間 |  |  | 12時間 | 9時間 | 6時間 | 4時間 | 3時間 |
|  | $\begin{aligned} & \text { 乾 燥 } \\ & \text { 時 } \end{aligned}$ |  |  | 1．5時間 | 1.5 時間 | 1時間 | 30分 | 30分 |
|  |  | 歩行 | 可能 | 2日 | 1．5日 | 1日 | 1日 | 16時間 |
|  |  | 完全 | 硬化 | 14日 | 10日 | 7日 | 7日 | 5日 |
|  | $\begin{aligned} & \text { 塗ね } \\ & \text { 間 隔 } \end{aligned}$ | MIN |  | 1日 | 1日 | 1日 | 1日 | 1日 |
|  |  | MAX | （同種） | 14日 | 10日 | 7日 | 7日 | 5日 |
|  |  |  | （異種） | 14日 | 10日 | 7 7日 | 7日 | 5日 |
|  |  |  | － | 注：塗り重ね間隔において，別途，基準が定められている場合は基準を遵守してください。 |  |  |  |  |
|  | $\begin{aligned} & \text { 適 正 } \\ & \text { 希䉼 } \end{aligned}$ | エア | レス | 10～15\％ | 10～15\％ | 10～15\％ | 5～10\％ | 5～10\％ |
|  |  | はけ・ロ | －ラー | 5～10\％ | 5～10\％ | 5～10\％ | 0～5\％ | 0～5\％ |

＊安全に関する詳細情報は，安全データシート（SDS）をご参照ください。＊データの内容は予告なしに変更することがあります。

取け扱い
注意事項

1．塗料開缶は原則として使用する直前に行い，開缶したものはその日 のうちに使用するように心がけてください。
2．塗料は使用する前に電動擋抖機等を用いて，十分撹拌を行い均— な状態にして使用してください。
3．他品種，他品名の塗料との混合は厳禁です。
4 希釈用シンナーは弊社指定のシンナーを用いて，希釈量は，規定量内でご使用ください。
5．塗装環境条件（温度•湿度）の制限は厳守してください。低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすく なります。
6．被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨，結露が予測され る場合の塗装は避けてください。
7．被塗物の表面温度が $50^{\circ} \mathrm{C}$ 以上の場合は，塗装を避けてください。
8．被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
9．塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具（帽子，ヘルメット，保護めがね，マスク，手袋など）を使用し，身体に付着しないように注意してください。

10．目に入ったときには，多量の水で洗い，できるだけ早く医師の診察を受けてください。
11．皮虔に付着したときには，多量の石けん水で洗い落とし，痛みまた は外観に変化があるときは，出来るだけ早く医師の診察を受けて ください。
12．蒸気，ガス等を吸入した場合には，清浄な空気の場所で安静にし，必要に応じて医師の診察を受けてください。
13．飲み込んだ場合には，できるだけ早く医師の診察を受けてくだ さい。
14．容器からこぼれた場合は布でふき取り，その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
15．火災時には炭酸ガス，泡または粉末消火器を用いてください。
16．残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
17．子供の手の届かない場所に保管してください。
18．塗料の保管は関連法規を遵守してください。
19．容器はつり上げないでください。

製品に関するお問い合わせ

北海道 $\boldsymbol{B}$（0123）32－0431 FAX（0123）34－6199
東 北 $\boldsymbol{B}(022)$ 285－7915 FAX（022）285－7813
東 京 $\boldsymbol{B}(03) 5690-0544$ FAX（03）5690－0553
静 岡 $\boldsymbol{B}(054) 245-0135$ FAX（054）247－4091

北 陸 $\boldsymbol{B}(076) 262-1305$ FAX（076）262－1315
名古屋 $\boldsymbol{B}(052) 612-0293$ FAX（052）612－0318
大 阪 $\boldsymbol{B}(06) 6426-3763$ FAX（06）6429－6268
中 国 $\boldsymbol{B}(082)$ 264－6822 FAX（082）264－6821

四 国 Br（087）841－1251 FAX（087）843－3108
九 州 $\boldsymbol{B}$（092）472－2222 FAX（092）473－5777
https：／／www．shintopaint．co．jp／


[^0]:    ※錆面補修は，鋼材露出部に適用

